

野沢温泉 探訪記

—世界が注目する村の魅力と
地域戦略のリアル～

著・浅見 純一郎

書籍紹介

『野沢温泉探訪記』

～世界が注目する村の魅力と地域戦略のリアル～

著者：浅見純一郎





目次



エグゼクティブサマリー

p.3



書籍概要

p.4



本書の特徴

p.5



本書の構成

p.6



著者について

p.7



まとめ






p.8





エグゼクティブサマリー

本書は著者の実体験と調査分析を融合し、「なぜ野沢温泉は世界を魅了するのか？」を探求。地域活性化やインバウンド戦略、異文化共生など現代的テーマに示唆を与える一冊です。

| | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|  | <h3>目的</h3> <p>野沢温泉の魅力と地域戦略の核心を、訪問記と調査分析で解き明かす書籍を紹介。</p> |  | <h3>アプローチ</h3> <p>著者の3日間の滞在体験と、データ等に基づく客観的分析（Deep Research）を融合。</p> |  | <h3>主要な発見</h3> <p>魅力の要因は雪質・温泉だけでなく、歴史、文化、コミュニティ、戦略的取組の複合。</p> |
|  | <h3>現代的テーマ</h3> <p>インバウンド、オーバーツーリズム、異文化共生、地域経営等の課題を考察。</p> |  | <h3>示唆</h3> <p>地域振興関係者にとって、変化への対応や持続可能な発展のヒントを提供。</p> | | |

書籍概要

本書はITコンサルタントによる野沢温泉滞在記。「なぜ世界、特に外国人スキーヤーを魅了するのか？」という問いを軸に、実体験と調査分析を交え、地域戦略のリアルに迫ります。

探訪記と調査の融合



著者の3日間の滞在記録（訪問記）。

体験から生まれた疑問をデータ等で深掘り（Deep Research）。

主観と客観の両面から野沢温泉の姿を立体的に描写。

核心的な問いと現代的テーマ



「なぜ野沢温泉は世界を魅了するのか？」を探求。

地域活性化、インバウンド、異文化共生等の重要テーマを考察。

具体的な事例を通して現代日本の課題を映し出す。

本書の特徴

実体験に基づく「訪問記」と客観的な「Deep Research」の融合が最大の特徴。核心的な問いを掘り下げ、現代的な地域課題と接続し、具体的なエピソードを通じて深い考察を提供します。

5つの特徴

・**「訪問記」と「Deep Research」の融合:** 著者が実際に現地で見、聞いて、感じた主観的な体験談と、その体験から生まれた疑問に対する客観的な調査・分析が組み合わされており、野沢温泉の姿を立体的かつ多角的に描き出しています。

・**核心的な問いへの探求:** 「なぜ野沢温泉は世界を魅了するのか?」という問いを軸に、雪質や温泉といった資源だけでなく、歴史、文化、コミュニティ（特に「湯仲間」制度）、戦略的なプロモーション、アクセシビリティ向上など、複合的な要因を分析しています。

・**現代的テーマとの接続:** インバウンド急増に伴う経済効果（光）とオーバーツーリズムの懸念（影）、伝統文化と異文化の共生・摩擦、地域コミュニティのガバナンス、伝統工芸の継承問題、地域資源を活用した新たな価値創造（野沢温泉蒸留所など）といった、多くの地域が直面する可能性のある課題を扱っています。

・**具体的な体験を通じた考察:** 温泉街の散策（集印めぐり）、外湯体験、食事、スキー体験、地元の人々や他の観光客との交流といった具体的なエピソードを通して、分析や考察が展開されるため、読者はより深く内容を理解し、共感することができます。特に「集印めぐり」は、楽しみながら地域を理解させる巧妙なゲーミフィケーション戦略として分析されています。

・**地域経営への示唆:** 成功体験を持つ地域がいかにして変化に対応し、持続可能な発展を目指すかという視点（滞在中の村長選挙にも触れながら）を提供しており、地域振興に関わるビジネスパーソンや自治体関係者にとっても示唆に富む内容となっています。

本書の構成

著者の3日間の野沢温泉滞在に沿った3部構成。到着からスキー体験、帰路での考察まで、時間経過と共に発見と分析が深まります。最終章では学びと今後の展望を整理します。

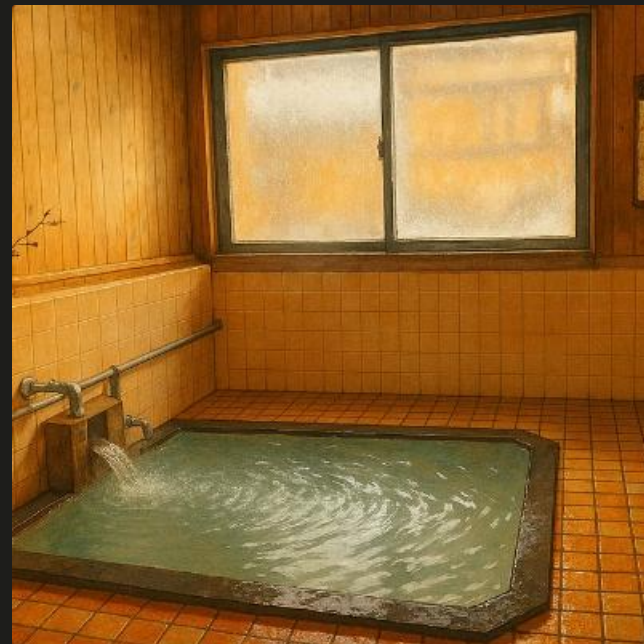


第一部（1日目）

野沢温泉到着、温泉街散策、「集印めぐり」開始。

外湯体験、歴史、文化、国際色、湯仲間制度に触れる。

伝統工芸（鳩車）の現状にも言及。



第二部（2日目）

雨天の中、外国人客の消費動向や多様化するニーズ、地域のもてなしを分析。



第三部（3日目）・最終章・あとがき

(3日目) スキー体験、越後湯沢との比較、村長選挙から地域の未来を考察。

旅全体の総括と野沢温泉の事例から得られる学びを整理。

今後の展望について言及。



著者について

著者は埼玉県出身のITコンサルタント浅見純一郎氏。コンサルティング経験を活かす傍ら、『図解版・就職氷河期にコンサルティング業界へ入った父親が、娘に伝えたいこと』を執筆。

経歴

- 浅見 純一郎（あさみ じゅんいちろう）氏。
- 慶應義塾大学工学部卒。
- デロイトトーマツ、KPMGコンサルティング等を経て独立。イノベーションジャパン株式会社。
- 江東区観光協会理事

現在の活動

- IT/AIを活用した企業改善支援に従事。
- 今まで、PTA会長、自治会会長、選挙管理委員長などを従事。地域活動にも積極的。

主な著書

- 『図解版・就職氷河期にコンサルティング業界へ入った父親が、娘に伝えたいこと』
- （2024年12月23日発売）

まとめ

本書は、体験と分析を通じて野沢温泉の魅力と戦略の本質に迫る、示唆に富んだ一冊。観光関係者、地域活性化担当者、異文化理解に関心のある全ての方におすすめです。



ユニークな視点

個人的体験（訪問記）と客観的分析（Deep Research）の融合。



深い洞察

世界を魅了する要因を多角的に解明（資源、文化、コミュニティ、戦略）。



現代的課題への接続

インバウンド、異文化共生、持続可能性など重要テーマを考察。



豊富な示唆

地域活性化、観光戦略、コミュニティ運営に関わる実践的ヒントを提供。



推薦対象

旅行好き、地域活性化・インバウンド戦略担当者、異文化理解・持続可能な観光に関心のある方。

ご購入・お問い合わせ



書籍のご購入

『野沢温泉探訪記』は、アマゾンでお買い求めいただけます。



講演依頼

著者による講演や地域活性化のコンサルティングについてのお問い合わせも承っております。

本書に関するご感想やご質問は、公式ウェブサイトのお問い合わせフォームからお寄せください。地域活性化に関する情報交換も歓迎いたします。